

4  
674

和歌山  
奈良

兩縣下水害地視察復命書

039900-000-9

特17-593

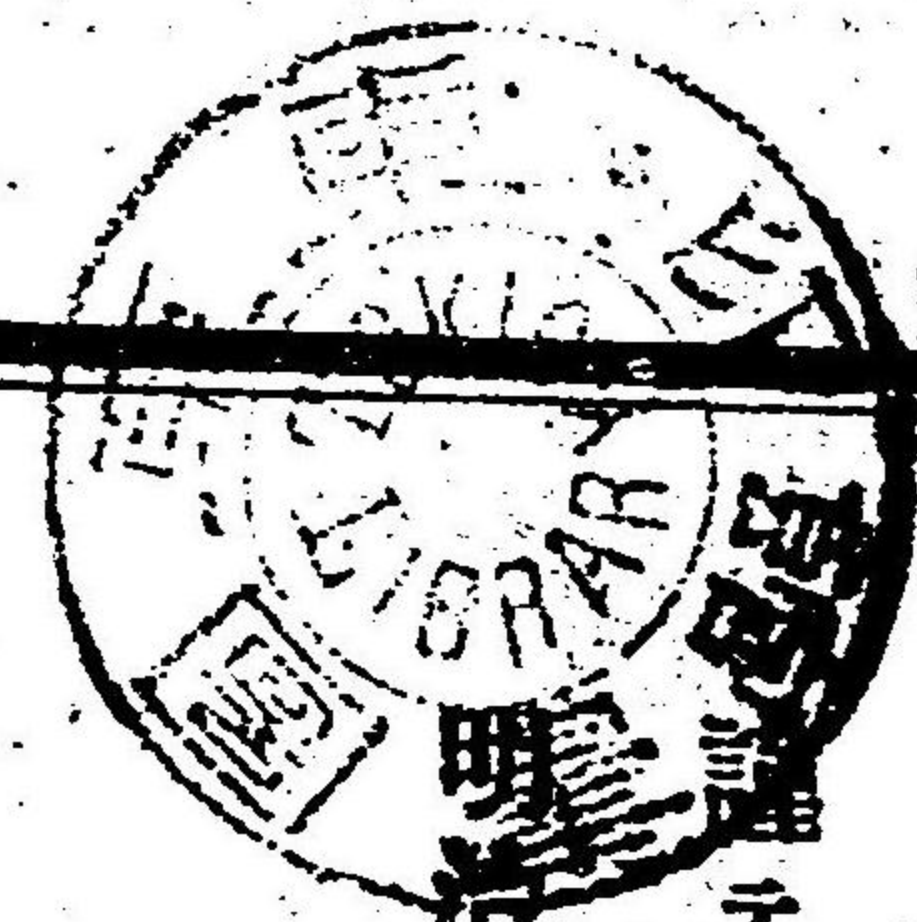
和歌山奈良兩縣下水害地視察復命書

白根 專一 / 刊

M22.12

BDB-0185





明治廿二年九月和歌山奈良兩縣下水害地視察之命ヲ奉シ同月八日松山ヲ發シ同十一月  
二日歸縣ス其日數間經歷訊問スル所ノ水害人民ニ關ル救助方法等ヲ錄シ以テ功程ト爲  
テ上呈ス

明治廿二年十一月十六日

愛媛縣屬土方幸

愛媛縣知事白根專一殿



被害地

和歌山縣下被害地ハ全管下ニ亘リ大凡東西六十里南北十數里ニ達ス其間南北ニ亘ル大  
小川岸ニ位置セル村落ハ其洪水ト沿岸ナル山岳崩壞ノ爲メ皆災害ヲ被ラサルハナシ而  
シテ其最モ太シキ出水ヲ見ルハ東牟婁郡ニ在テハ新宮川トシ西牟婁郡ニ在テハ富田川  
會津川(一名田邊川)秋津川三栖川(以上二川ハ會津川ノ上流)ヲ最トシ日置川之ニ次ク  
日高郡ニ在テハ日高川ヲ最トシ南部川切目川之ニ次ク有田郡ニ在テハ有田川ヲ最トス  
紀ノ川ハ伊都那賀名草三郡ノ幾部分ヲ浸セリ其他右ノ諸川ニ落入ル枝川モ亦當時皆水

量數丈ニ達シ害ヲ沿岸住民ニ與ヘサルハナシ  
 奈良縣下ハ吉野川及高市郡ノ諸川ニ多少堤防ノ缺壞ヲ見ルト雖モ彼ノ十津川ノ最大害  
 ニ掩ハル、チ以テ未タ嘗テ之ヲ唱フル者ナシ然レモ亦是レ被害地ノ一部分タルヲ免レ  
 ス其吉野郡ニ於テハ十津川柴園川西川ヲ最トシ天ノ川(十津川ノ上流)小原川旭川寒之  
 川小川等之ニ次ク  
 被害ノ景狀ハ地盤ノ昂低ニ依テ一様ナラズト雖モ其顯著ナルモノヲ舉クレハ人畜ヲ壓  
 死シ家屋及樹木ヲ壓倒シ或ハ流出シ泥濘耕地ヲ埋没スル等最大害ニシテ而シテ此等ノ  
 本源ヲ究レハ唯洪水ト山岳崩壞トノ二者ヨリ及ホセシモノトス其被害地ノ位置及死亡  
 者等ノ概ハ筆記ニ違アラサルヲ以テ之カ謄寫ハ所管ノ縣廳ヲ煩ハセリ其表及地圖ハ左  
 ノ如シ

洪水被害概表

明治廿二年九月九日調査

郡市別	町村別		家屋	流失	全倒	半倒	死亡人	山崩	落橋	流船	失船	死牛馬	堤防	決潰	道路
	宅	浸													
和歌山市			九七三	一	四	四	一五	未詳	八	一	未詳	未詳	未詳	未詳	
名草郡	村	四二村	六三九	二	二	三	九	全	三	七	一	全	全	全	
海部郡	村	四二村	六三九	二	二	三	九	全	三	七	一	全	全	全	
那賀郡	全	三六全	三三一	一	三	三	二	全	一	二	二	全	全	全	
伊都郡	全	三全	一五	一	六	九	三	全	四	一	一	全	全	全	
有田郡	全	二全	二〇	一	三	八	九	全	一	一	一	全	全	全	
日高郡	全	三全	二九	一	三	八	三	全	二	四	三	全	全	全	

奈良縣大和國吉野郡被害取調

郡市別	全町	村	浸水		浸水家屋		流失家屋		全倒		半倒		死亡人	山崩	落橋	船舶	流失	死牛馬	堤防	破道
			町	村	家屋	家屋	家屋	家屋	家屋	家屋										
西牟婁郡	町	四	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一								
東牟婁郡	全	全	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一								
合計	全	全	二	二	三	二	二	二	二	二	二	二								
吉野郡	四	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一								

巡視路程

明治二十二年九月十一日和歌山市ニ着シ二十三兩日同市ニ滞在縣廳ニ出頭秋山書記官及水害地調査掛大迫屬ニ面謁シ被害人数救助ニ關スル事項ヲ尋問シ及各郡衙ヘノ照會ヲ請ヒ且市中水害地ノ景狀ヲ視察シ十四日和歌山市ヲ發シ即日有田郡ニ入り有田川沿岸被害所ヲ視察シ郡衙(郡役所)所在地ヲ云フ以下倣之)ニ滞在スル一十六日有田郡衙ヲ發シ即日日高郡ニ入り郡衙ニ滞在ノ御坊村及同村大字島、藤田村大字藤井矢田村大字入野、若野、小熊、野口村大字野口早蘇村大字立子丹生村大字松瀬、和佐ノ被害地ヲ視察シ十九日日高川ニ沿ヒ川上村大字皆瀬川原河塞川村大字寒川、龍神村大字湯元古川(以上西岸)ニシテ流レニ逆ル(以上山路)村大字宮代、西、中山路村大字柳瀬(以上東岸)ニシテ流レニ順フ)ヲ巡視シ柳瀬・日高川ヲ離レ南部川ニ沿ヒ清川村南部村ヲ過キ廿六日西牟婁郡ニ入ル廿七日ヨリ田邊町及其近在地方湊村万呂村大字上万呂、中万呂、下万呂、三栖村大字上三栖、中三栖、下三栖及上秋津村下秋津村(以上會津川上流沿岸村落)朝來村岩田村生馬村北富田村大字保呂、内ノ川、平、東富田村南富田村大字榮、西富田村

大字才野(以上富田川沿岸村落)ヲ視察シ十月三日田邊町ヲ發シ路ヲ熊野本宮街道ニ取  
リ粟栖川村大字粟栖川近野村大字近露、野中ヲ經テ五日東牟婁郡ニ入リ本宮村新宮町  
ヲ實視シ此處ニテ本縣顯著ナル被害地視察ヲ了リ十日同郡三輪崎村大字三輪崎港ヨリ  
乗船シ一晝夜ヲ經テ和歌山市ニ歸ル

十月十三日和歌山市ヲ發シ和泉ノ堺町ヲ經テ翌十四日奈良町ニ着シ滞在三日間縣廳へ  
出頭平山書記官及水害調査掛日比屬ニ面謁シ救助方法等ヲ訊問シ十八日奈良町ヲ發シ  
五條村ニ到リ宇智吉野郡衙ニ照會シ廿日五條村ヲ發シ吉野郡ニ入リ十津川及西川ニ沿  
ヒテ巡視スルヲ五日間其被害地ハ大塔村大字板本、小代、唐笠、辻堂、宇井、北十津川村  
大字長殿、宇宮原、上野地、谷瀬、林、高津、十津川花園村大字風屋、野尻、山崎、中十津川  
村大字小森、南十津川村大字半谷、(以上十津川沿岸)四十津川村大字重里、永井、玉垣、内  
西中、(以上西川沿岸)大谷トス夫レヨリ復ヒ北十津川村ニ出テ同村大字三浦、五百瀬、  
杉清ヲ過キ野迫川村大字北今西ニ抵リ此所ニテ本縣視察ヲ終ル依テ直チニ高野山ヲ經  
テ五條村ニ戻リ歸縣ノ途ニ就ク日ヲ累ヌルヲ三十四日被害地ニ臨ム六十九箇所ニシテ

訊問ヲ經タル郡衙五箇所村役場若干所ナリ而シテ縣廳及各郡衙各村役場ニ就キ訊問セ  
ル件々左ニ分類シテ其要領ヲ陳述ス

救助米買入及被害地へ運搬ノ手續

(和歌山縣廳) 有田郡衙ヨリ變災ノ報告ヲ得タルハ八月廿日(時刻ヲ聞漏セリ)ニシテ  
其區域及參狀ヲ想像シ電報ヲ以テ救助米(精米)買入方ヲ兵庫縣廳ニ依頼シ尋テ大坂府  
へモ依頼シテ兩所ヨリ買入シ、一ニ爲シ(兵庫縣ノミニテハ精米一時豫算ノ石高ニ滿  
タサル故ナリ)屬ヲ出張セシメテ其米ヲ汽船ニ積ミ直ニ被害地ニ送り郡衙ニ分配ス斯  
クスルノ數次回其分配ノ割合ハ各郡衙ノ報告ヲ目的トシ罹災地ノ多少ヲ計リ例へハ百  
石請求スル所へハ五拾石五拾石請求スル所へハ貳拾五石ト割當テ各郡衙ニ於テ焦眉  
ノ急ヲ救ヒシ飯米買入ノ手續ハ各郡大同ナレトモ運搬ノ手續ニ於テ小異ナキニアラサレ  
ハ左ニ之ヲ別記ス

(和歌山市)

紀ノ川堤塘破壊ノ爲メ水害ニ罹リシ者ノ救助米ハ悉ク市街ニ於テ購入  
シ炊出シテ監獄所ニ依頼シテ一時ノ飢ヲ防ケリ又九月十一日ノ水害ニ罹リシ被害者  
ノ救助米モ同斷市街ニテ辨シ一切他地ニ需メズ其運搬ノ手續ハ兩回トモ博飯ニ製シ

避害所ニ運搬シ老幼壯者ノ別ヲ立テ、夫々分配セリトソ  
 (有田郡) 連日ノ大雨豫メ出水ヲ憂フル際遽然其兆候ヲ報告スルモノアリ依テ先ツ  
 救助米買入レニ着手シ書記ヲシテ湯淺村(郡衙所在地戸數一千六百餘)ノ貯藏米ヲ調  
 査セシメシニ全村コテ僅々百石ヲ認メ其内時ノ相場ヲ以テ買上ケ或ハ現米ヲ以テ返  
 濟ヲ約シ漸ク五拾石ノ設備ヲ整ヘリ已ニシテ有田川沿岸ノ各村長ヨリ水害ヲ報告シ  
 救助ヲ請フヲ以テ更ニ電報ニテ救助米迴送ヲ縣廳ニ乞ヒ不取敢右ノ五拾石送付方ヲ  
 二手ニ分チ一手ハ上流ノ被害地ニ上セ一手ハ下流ヘ回シテ運搬シ車ノ通スル所マテ  
 ハ荷車ニ載セ夫レヨリ俵ヲ解キ藤袋ヲウ物コテ壹斗ツ、脊負セ(此賃金一丁壹錢ニ  
 當ル)各地ニ送附セリ左レニ前岸ノ村落ヘハ激流ノ爲メ達スルコト能ハサレハ水勢ノ  
 衰フルヲ待チ「ヒラタ」ト名クル密柑舟ヲ驅リ翌日ニ至リテ漸ク達スルコト得タリ此  
 レヨリ先キ前岸ニ於テモ某村長(村名聞漏セリ)ノ計コテ無害(浸水ヲ免レシ地ヲ云  
 フ以下做之)ノ村々ヨリ米鹽ヲ集メ救助ニ盡力セリ又下流ノ被害地ヘハ漁船ヲ借テ  
 運送ス而シテ救助ノ模様ハ未ダ水中ノ家屋中ニ在ルモノニハ博飯ニ製シテ與ヘ寺院

及社殿等ニ雨露ヲ凌キ居ルモノニハ米ニテ渡シ身ヲ炊クコトニ定メタリ其日數三四日  
 間斯ク手配ノ速カナル故飢ヲ訴ヘシモノナシ又當時書記等水中ノ避難者ヲ巡視スル  
 ニ先ツ飲水ヲ乞ヒ次ニ食物ニ及フ依テ直ニ飲水ヲ製シテ求メテ飽シメタリトソ(製  
 法未ニ出ス)又有出郡長野田氏ノ住居ハ藤並村大字野田ト云フ所ニシテ(郡衙ヲ隔ツ  
 壹里余)該所ハ有田川ニ瀕スト雖ヒ高臺ニ位セルヲ以テ幸ヒ浸水ノ害ヲ免レタリ依  
 テ當日夜ニ入ルニ及ヒテ篝ヲ三所ニ焚キ以テ無害地ノ遠近ヲ知ラシメタル故己ニ溺  
 ル、モノハ火光ヲ當ニ游泳シテ來リ害ヲ樹梢ニ避ケ居ルモノモ亦此火光ニ依テ流水  
 ノ衝突ヲ支ヘルノ便ヲ得シトソ時ニ臨ミテノ奇策ト言フヘシ

(日高郡) 一時救助米購入ノ模様ハ郡長ヨリ各村長ニ命シ無害各村ノ貯米者ヲ指點  
 シテ某ハ何石某ハ何石ト豫定シ時ノ相場ヲ以テ徵集シ御坊村及其近隣三四ヶ村ノ被  
 害民ヲ救助セリ其内縣廳ヨリ回漕米アリシヲ以テ十分ノ救助ヲ爲セリ又日高川上流  
 ニ沿ヒル山地ノ村落ニ至テハ一村ノ位置河岸ニ添エ短クモ壹里以上ニ亘レハ某所ハ  
 水害ニ罹ルモ某所ハ無難ナル等一村擧ケテ慘狀ニ陥リシモノナシ故ニ被害者ハ身ヲ

無難者ノ餘裕ヲ借り凱ヲ凌キシ故村長ノ勞ヲ取リシハ川上中山路二村ノミトソ(村  
會議員ヲ會シ無害者ヨリ米麥ヲ徴シ救助ニ充ツ)

郡衙ヨリ縣廳ノ回漕米ヲ山地々方ニ運送スルニ初メ之ヲ郡衙ニ積置キ被害人ヲシテ  
身ヲ運搬セシメシニ山谷ヲ迂回シ來テ僅ニ五升ニ過キサル米ヲ負フ而シテ負フ者途  
次ノ宿泊所ニ於テ食スル故歸村ノ日マテニ過半喰盡シ殘餘ヲ與フルノ景狀ナレハ  
郡衙ハ新タニ出張所ヲ船着(郡衙ヲ隔ツ匹里餘)清川(郡衙ヲ隔ツ六里)ニ村ニ置キ此  
所ニテ受授スルヲ爲シタリ然レトモ村長ノ内直ニ郡衙ニ到リ金ニテ請取り身ヲ米鹽  
ヲ買入レ運送スルモノアリ協議之ヲ便トスルヲ以テ此ノ出張所ハ僅ニ二周日ヲ出テ  
スシテ廢セリトソ

(西牟婁郡) 和歌山縣下被害第一等ニ位スレトモ河川長流ノモノナリ且激奔ナルヲ以  
テ流失セルモノハ瞬時ニ流失シ難キヲ免レシモノモ亦久シク避難ニ彷徨セヌ故ニ貯  
米ヲ借りテ救助ニ供シ、ハ富田川沿岸各村ノミ其他ノ被害者ハ減水後知己縁者ニ據  
テ救助ヲ受ケ或ハ家跡ノ埋没米ヲ以テ一時ヲ凌キシモノ多シ故ニ救助米ハ初メヨリ

備荒儲蓄施行規則ニ據テ分配シ其運搬費ハ被害村落ノ負擔ニ歸セリトソ

(東牟婁郡) 本宮村及其近村ト新宮川沿岸村落ノ災ニ罹リ新宮町遭難者臨時救  
助米買入ノ方ハ幸ヒ米穀搭載ノ入船アルヲ以テ之ト約定ヲ結ヒ五拾石買入レ不取敢  
炊出シテ無告ノ被害者ニ給與ス同地ハ二千三百戸ノ内流失ニ係ルモノ五百十二戸其  
無害人民ハ直ニ義捐米ヲ募リテ救助ヲ郡衙ニ依頼シ又南北牟婁二郡各村ヨリモ陸續  
義捐米金ノ寄送アルヲ以テ先ヅ一時ノ救助米ニハ初メヨリ不足ヲ告ケサリシ其炊出  
救助ハ凡テ十日間ナレトモ縁者ニ據リ或ハ奮テ身ヲ生活ヲ求ムルモノアリテ平均一日  
千人ニ足ラスト云フ又山地ヘノ送米ハ一切郡衙ヨリ被害村落マテ送付シテ日高郡ノ  
如ク郡衙或ハ出張所ニ積置キ被害地ノ運搬ニ任セス其運搬ノ模様ハ初メ新宮川ヨリ  
運搬セルヲ一回セシモ其費用ノ莫大(新宮町ヨリ本宮村マテ九里余ノ所一俵ノ運賃  
凡壹圓ニ當ル)ト且十津川新湖水欠壞ノ虞アルヲ以テ中邊路(新宮田邊ノ間海邊ノ街  
道ヲ大邊路ト云ヒ新宮ヨリ那智ヲ經テ本宮街道ヲ田邊ニ出ツル路ヲ中邊路ト云フ)  
ヨリ運搬セリ

以上陳述セル所救助米運搬ニ係ルモノハ郡衙ヨリ直ニ被害地運搬セルモノ、手續ニシテ實ニ被害當時ノ事ナリ其後郡衙或ハ村長ノ買置米ヲ被害地へ運搬スル模様ニ至テハ各村一様ナラス其殊別ハ村役場ヨリ村内ノ壯者ヲ指シテ運送セシムルアリ(被害者多キ地)受救者ヲシテ運搬セシムルアリ(被害者少キ地)或ハ運搬ハ受救者ト定ムル其人ニ乏シキ時ハ無害者ヲ指示シテ使役セシムルアリ或ハ無害被害ヲ問ハス望ム者ヲ使役スルアリ或ハ無害被害ニ拘ハラヌ一村ノ負擔トシテ運搬セシムルアリ其運搬人へハ役場ヨリ符牒或ハ書狀ヲ渡シテ証トシテ受救者ヲ除クノ外ハ凡テ賃銀ヲ與フ其割合ハ平素薪炭等ヲ運搬スル日雇賃ヲ目的トシ大抵精米ニテ渡ヌ自高郡川上村大字川原河ヨリ船着村大字船津マテ往復七里程ニテ壹斗ヲ擔フ賃米四合トス他村モ亦此ノ割合ニ準ス

有田郡ノ條下ニ述フル被害者ニ與ヘシ飲水ノ製法ハ濁水壹石ニ付明礬七八匁ヨリ拾匁マテヲ入レテ攪ハシ暫シセハ清水ヲ得ルト又西牟婁郡ノ條下ニ述フル埋沒米ハ之ヲ水ニテ淘汰シ日ニ乾シ蒸シテ食ス之ニ他ノ精米ヲ少シシ混セハ可ナリ味ヲ

得ルトン

(奈良縣) 郡衙ニ於テ臨時救助米ハ之ヲ五條村(郡衙所々在地)及ヒ葛上郡御所紀伊橋本村ノ三ヶ村ニテ購入ス其運搬ノ手續ハ五條村ヨリ直ニ被害地へ通行ノ本道欠壞シ食料運搬ヲ爲ス能ハサルヲ以テ紀伊高野山ヨリ進ミ專ラ大塔北十津川中十津川十津川花園諸村ノ被害人ヲ救助シ又縣廳吏員ハ三重縣下南牟婁郡木ノ本村ニ出張シ此所及近村ニテ買入レ南十津川東十津川西十津川各村ノ被害人ヲ救助ス其運送ノ模様ハ並ニ荆棘ヲ切拂テ新道ヲ設ケ或ハ舊道ヲ修理シテ進入ス其運搬人ハ沿道各村ニ募リ壯者一個ノ負米壹斗ヲ定限トシ賃銀ハ平常ヨリ五割増トス然レモ當時被害地危險ノ噂高カリシヲ以テ募リニ應スルモノ太タ少シ斯ク苦心シテ運送スルコト凡ソ十日間其後本道ノ假修繕略ホ落成シ、ヲ以テ更ニ郡衙ノ出張所ヲ高野山坂本兩所ニ置キ受救者ヲシテ身ヲ運送セシメ救米ノ外相當ノ賃銀ヲ與ヘヨリ是ヨリ先五條村及吉野郡下市村上市村ノ義民相謀リテ徵收セル義捐米ノ到達アリ加之無害者ノ貯藏米ヲ以テ幸ヒ被害者ヲシテ餓葎ノ慘狀ニ陥ラシメサリシトシ



臨時救助米購求金

(和歌山縣) 縣廳及各郡衙ニ備置シ所ノ備荒儲蓄金ヲ以テ購求スト云々然レ此ノ備金タル何レモ銀行等ニ預ケ置クヲ以テ當時焦眉ノ場合之ヲ引出スニ違アラザリシカハ實際ハ口頭ヲ以テ約定シ追テ金ヲ渡セリ(本縣備荒儲蓄施行規則ハ儲蓄金ヲ折半シ其半額ヲ公債証書ニ交換シテ縣廳ニ貯藏シ其餘ノ半額ハ現金ノマ、縣廳ト郡衙ニ分配シ臨時凶荒等ノ費ニ供テ割合ハ各郡衙へ五百圓ツ、トシ縣廳ハ其殘餘ヲ備置シ縣廳ニテハ當座預ケノ各目々以テ銀行ニ預ケ薄利ヲ要スト(各郡モ亦全様薄利ヲ要セルカ這ハ聞漏セリ)又出水等ニテ郡衙ノ救助米通セサル村落及郡衙ト遠隔ノ地方ニ於テハ村長ノ計ヒニテ適宜ニ借入レ追テ右備金ヲ請取處分セリトシ

(奈良縣) 本縣ハ和歌山縣ノ如ク現金ヲ郡衙ニ備置カサルユヘ宇智吉野郡衙ハ被害地ノ報ヲ得ルト共ニ電報ヲ以テ救助米買入レ方ヲ縣廳ニ問ヘリ縣廳モ亦電報ヲ以テ買入金ノ支出ヲ五條村ノ某銀行(名ヲ聞洩セリ)ニ命シ且請取方ヲ郡衙ニ通セリ依テ郡衙ハ其手續ヲ以テ金ヲ得五條村ハ勿論近傍ノ橋本村御所村等ニテ若干ヲ買入レシトシ

炊出米處分及備荒儲蓄金穀給與割合

備荒儲蓄金穀給與割合ハ兩縣トモニ廿二年度實施セル備荒儲蓄法施行規則ニ據ルト雖其割合ニ等差アルヲ以テ左ニ之ヲ別陳ス

(和歌山縣) 本縣規則中建築費ハ住居家流失ノモノへ金八圓半潰ノモノへ金四圓ヲ給與シ救助米ハ男女ヲ問ハス一八一日ノ食料玄米五合七十歳以上十二歳未滿ノモノへ三合ノ割合トス然レモ今回ノ手當ハ被害ノ當座臨時ノ處分ヲ執行シ精米ヲ以テ一人五合ツ、給シ(十二歳未滿者ヲ除ク)追テ精算ノトキハ規則ニ從フ然レモ玄米ト精米トノ割合ハ問ハサルコトス幾許ナラスンテ玄米ヲ給シ凡テ日數三十日ニ滿ツルモ數万ノ人民尙未タ生計ノ緒ニ就カサルモノ夥多ナルヲ以テ内務大藏兩省ノ許可ヲ請ヒ更ニ制限外ニ給與スルコト爲シタリ尤モ此ノ特別給與ハ被害者多ク且困難ノ甚シキ東西牟婁二郡及日高郡ニ限リテ縣下一般ニ及スニハアラス其日數ハ廿日ト十五日ノ二種ニ區別シ受救者ノ區別ハ村長ノ見込ニ一任ス此ノ舉ハ先年大坂府下水害者救助ノ例ニ依リ許可ヲ請ヒシモノト云フ尤モ伺書ニ給助ノ日數ヲ算セサルヲ以テ成ルヘク短縮ヲ善シトスル

兩省書記官ノ内意ニ付郡長等ノ意見ヲ採擇シテ斯ク日數ヲ定メシトシ  
 水害當時ノ炊出米ヲ備蓄儲蓄施行規則ノ三十日以内ノ日數ニ組入ルヤ否ニ至テハ小官  
 初メ毎郡衙ニ之ヲ問フニ或ハ繰込ト云ヒ或ハ未タ否ノ議ニ及ハスト云ヒ一定セサキ  
 其組入ルト答フル郡ニ對シテハ調査上頗ル疑フキモノアルヲ以テ力メテ質疑スルニ  
 何レモ満足ノ答ヲ爲サ、リシ然ル此ノ事項タル救助中殊ニ要項ト認ムルヲ以テ巡視了  
 リシ後縣廳ニ就テ之レカ確説ヲ訊問ス時恰モ好シ郡長會議ニ際シ一ノ諮問案ト爲リ居  
 リテ未タ決議ノ運ニ至ラサルモ無論別途ニ屬シ規則ニ據ラサル事ニ定マルヘント答  
 ヘナリキ

今回ノ水害ハ八月十九二十兩日ト九月十一日ノ兩回ニシテ此前後兩回ノ災ニ罹リシモ  
 ノ、救助方ハ前災ニ罹リ未タ三十日以内ノ救助ヲ受ケ居ルモノニ對シ更メテ後災ノ被  
 害ヨリ算ヒ規則ノ日數ヲ給ストシ

該縣備荒儲蓄金高ハ貳拾万圓余アリ此ノ三分一ヲ引去リ殘リ拾貳萬余圓ニ今般下附  
 ノ國庫金拾万圓ヲ併セテ約貳拾貳万圓ト爲ル此貳拾貳万圓ハ全ク支出スヘキ額ニシ

テ去ル十月十一日迄ニ拾九万圓ヲ支出シ前災ニ罹ルモノ、給與金數ハ大抵渡濟ニ成  
 リタルモ後災者ノ景况ハ調査未タ整頓セサルヲ以テ其幾許ナルヲ知ルコト能ハスト雖  
 モ幾分カ國庫ヲ仰カサルヲ得サルヘント云ヘリ

(奈良縣) 本縣ノ給與方ハ被害者ノ便利ヲ量リ米金何レヲ望ムモ其請フ所ヲ給與セリ  
 其割合ハ男一人一日ノ食料玄米五合女一人四合七十歳以上十五歳未満ハ男女ヲ問ハス  
 一人四合トス又一家五人以上自家住居ニシテ其住居家流亡シ、モノヘハ金七圓ヲ給シ  
 同人數ニシテ借家住居ノモノ其借家流亡シ、ハ金五圓ヲ給シ一家四人以下自家住居ニ  
 シテ其住居家流亡シ、モノヘハ金六圓ヲ給シ同人數ニシテ借家住居ノモノ其住居家流  
 亡シ、ハ金四圓ヲ給シ一家五人以上自家住居ニシテ其住居家潰レ或ハ半潰ト爲リ他ニ  
 移住スヘキ家ナキモノヘハ金六圓ヲ給シ同人數ニシテ借家住居ノモノ其借家潰レ或半  
 潰ト爲リ他ニ移住スヘキ家ナキハ金四圓ヲ給シ一家四人以上自家住居ニシテ其住居家  
 潰レ或ハ半潰ト爲リ他ニ移住スヘキ家ナキ者ヘハ金五圓ヲ給シ同人數ニシテ借家住  
 居ノモノ其借家潰レ或ハ半潰ト爲リ他ニ移住スヘキ家ナキハ金三圓ヲ給シ其他農具料

金七圓以内種穀料金五圓以内ヲ給ス以上ハ親戚隣保等ノ救助ナキモノニ給與ス親戚隣保等ヨリ救助セルモ規則ノ額ニ滿ラサルトキハ其不足額ヲ給ス是レ現今施行ノ規則ナリ

救助日數ハ備荒儲蓄施行規則ニ據リ三十日間給與スルハ勿論ナリ然ルニ今回ノ災ニハ五條上市下市三村ノ慈善者ヨリ救助セルモノ數日ニ渉ル此ノ數日ニ渉ル日數ヲ三日間ト假定シ三十日内ニ組入レシヲ以テ儲蓄金實質ハ全ク二十七日間トナレリ此ノ組入レシ事ニ付テハ頗ル不同意ヲ唱ヘシモノアリシト聞ク

地租ノ補助及貸與數ハ未ク調査ノ運ヒニ至ラスト雖モ該規則ヲ窺フニ和歌山縣ノ定メハ田畑トモ平均六分以上ノ損毛ニ罹リシモノニ限り地價壹圓未滿ニ補助シ壹圓以上ハ貸與ス而シテ補助貸與トモ損毛六分以上七分未滿ハ地租ノ七分七分以上八分未滿ハ八分八分以上九分未滿ハ九分九分以上皆無ハ全地租ヲ辨ス奈良縣ノ定メハ損毛六分ハ地租ノ五分七分以上ハ七分八分以上ハ九分九分以上ハ全額ヲ辨ス其貸與補助ノ區別ハ地價百圓以下ニ補助シ百圓以上ニ貸與ス

被害者救護ノ景况

(和歌山縣) 各郡ノ景况小異アルヲ以テ左ニ之ヲ別記ス

(和歌山市) 紀ノ川堤塘破壊ノ爲メ全市ノ七分浸水ノ災ニ罹レリ其罹災人ヲ市街本願寺及縣會議事堂各公立小學校ニ救護ス又九月十一日ノ浸水ニモ救護ヲ乞フモノ數百名アリ之ヲ本願寺ニ養フ小官本願寺ニ到リ見ルニ總テ三百名餘アリキ

(有田郡) 有田川沿岸被害ノ太シキ村落ハ海口ヨリ三里ノ間ニシテ此ノ村落ニ古來多クノ密柑樹ヲ培養セルヲ以テ收穫ノ秋ハ之ヲ海口マテ積送リ夫ヨリ海船ニテ東京大坂ニ送ルヲ例トス故ニ之ヲ培養スルモノハ「ヒラタ」ト名クル小舟ヲ所持セサルハナシ(十石積位)今四ノ災ニハ各自之ヲ漕出シテ二階又ハ家根ニ害ヲ避ケ居ルモノヲ救ヘリ又海口ニ濱スル村落ヨリハ漁舟ヲ行リテ護送セリ斯クスル中過半減水セルヲ以テ壯者ヲ殘シ老幼ノミヲ乘船セシメタリトシ

(日高郡) 本郡ハ有田郡ト同シク海岸地方幾部分浸水ノ害ヲ免レシモノアルヲ以テ此ノ地方ヨリ漁舟及水手若干名ヲ備ヒ先ツ御坊村(郡衙所在地)ニ漕寄セ水害ヲ避ケ

居ルモノヲ護送セリ當時出水中激流矢ノ如ク舟ノ進退自由ナラヌ一回ノ護送僅ニ五六人ニ過キス斯クシテ三百人余ニ及フトキ過半減水セルヲ以テ護送ヲ見合アリトシ  
 (西牟婁郡) 富田川海口ヨリ凡ソ四里ノ間而岸ニ位置セル七ヶ村被害ノ景况ハ最モ悲惨チ極メタリ此悲惨ニ陥リシ村落ノ中朝來村ヲ除クノ外(一村ノ地富田川ニ跨リアルヲ以テ平常耕耘ノ爲メ往來セル渡船場各所ニアリテ從テ之ニ充ツル小舟モ亦若干アリ)共有ノ渡舟ヲ用ヰテ被害者ヲ救護セリ獨リ朝來村ハ渡舟ナキヲ以テ新庄村(朝來村ヲ隔ツ一里余)ヨリ漁舟四艘借受ケ盡力セリ左ノ耕地間ニ住居セルモノハ各村トモ悉ク推流サレシ故護送ニ預リシモノハ僅ニ一戸際ノ家屋ニ彷徨セルモノトシ

(東牟婁郡) 本郡ニ於テハ本宮村熊野神社々殿ノ屋根ニ死チ免レ居ル神官七名ヲ船ニテ救護セリ(救護船ハ古來新宮川ヲ往來シ貨物ヲ運送セル船ニシテ變災前ハ二十四五艘アリシモ流失シテ僅ニ四艘ヲ殘セリ)其他護送ノ事ヲ聞カス

(奈良縣) 縣下宇智郡五條村ノ慈善者同所ノ寺院ヲ借受ケ被害者ヲ救護セリ其手續ハ

豫テ各被害地ノ村長ニ通シ置キ望ミシモノハ村長ノ添書ヲ得テ救護ヲ受クルニ定メタリ然レニ十津川人ハ一種ノ氣風アリテ頗ル此ノ救護所ニ入ルヲ恥チ且一時救護所ノ惠チ受クルモ早晚身ヲ生活ノ道ヲ需メサルヲ得サレハ其計畫ハ居村ニ於テ爲スルハ知カストノ感情ヨリ來レモ少ク凡テ八十人前後トシ  
 縣廳ヨリ内閣ニ上申シ被害者ノ内無産ニ陥ルモノ六百戸北海道札幌空地ニ移住セシムルヲ許可ヲ得テ之ヲ移住セシム其旅費ハ凡テ官費ニシテ漁船四艘備ヒ人數ヲ四分モ移住人ノ荷物ハ五條及紀伊橋本ノ二村何レニ出スモ各自ノ適宜ニ任スト雖モ其費用ハ自辨トシ夫ヨリ悉皆官費ニテ運送ス官費ハ移住後夫々食料ヲ得ルマテノ豫算金拾七万余圓ナリトシ

死チ免レシ者ノ景狀

参考ト爲ルヘキモノナリ只溺者ノ大木ニ附着セルモノハ他本ノ衝突等ニテ轉スルトキ附着ニ堪ヘヌシテ溺死シ小木ヲ抱ケルモノハ是等ノ恐レナキヲ以テ間々九死ニ一生ヲ

得シモノアリシト聞ク山崩ノ災ニ罹リタルモノニ至リテハ聞ク所ナシ小官和歌山縣日高郡中山路村大字柳瀬ニ泊スルトキ隣席ニ警官二名宿セリ依テ其來意ヲ問ヘハ同所被害人ノ死ヲ免レシ者ノ景狀ヲ調フト答フ(褒賞條例ニ依リ賞與スヘキモノヲ調査スル旨趣ナリ)依テ翌半日滞在シテ其景狀ヲ聞キ無端ニ酸鼻ヲ催セリ死ヲ免レシ景狀ハ凡テ偶然ニ出テ、一モ參考ト爲ルヘキモノナシ

山岳崩壞前兆ノ有無

而縣トモ著シキ崩壞ハ其所ニ就キ前兆ノ有無ヲ問フニ皆前兆ナシト答フ惟々崩壞セントスルニ際シ噴水ノ音地層ニ鳴渡リシト云フハ一般ニ唱フル所ナリ然レトモ小官巡視セル所ニ於テ噴水穴ヲ認メタルモノハ十中二三ノ割合ニ過キス深ク崩壞シテ山骨ヲ顯ハセシモノハ飛泉ヲ布キ往々奇觀ヲ呈セルモノ數所ニ見請タリ又己ニ崩壞セントスルトキ土質ノ臭氣ヲ發セシヨハ到ル所亦皆之ヲ云ヒ、獨リ和歌山縣東牟婁郡三里村大字三越ニ屬セル某山ハ一週日前ヨリ地底時々鳴動シ崩壞跡ハ硫黃ノ臭氣アリト聞ク(同所受持巡查ヨリ本宮村警察分署長ニ報告シ署長面當リ之ヲ認メタリト語レリ)又各所崩

壞ノ模様ヲ尋ヌルニ兩縣下トモ十中八九ハ八月十九日夜コシテ闇夜ニ加フル大風雨ナリハ誰アツテ之ヲ認メシモノナク只十津川花園村大字野尻ニ屬セル峰榜山ハ一所(登三十一町直直八町程リ云フ)ハ二十日午前十一時頃ニシテ初メ崩壞セントスルトキ山頂六尺余ノ洞ヲ開キ凡ソ十五六分ニシテ崩落セリトシ

官吏被害地ニ派遣及受持ヲ定ム

(和歌山縣) 縣廳ニ於テ有田郡衙ヨリ變災ノ電報ヲ得タルヤ秋山書記官屬三名ヲ從ヒ實地視察トシテ出發スト雖ニ道路危險通行難シト聞キ途中ヨリ引返シ更ニ漁船ヲ以テ海路ヨリ景況ヲ報道スルコトニ定メタリ(有田郡以東各郡電信通セサル故ナリ)而シテ縣廳ニ於テ救助受持ヲ定メ第一部長ハ西牟婁郡及和歌市紀ノ川筋第二部長ハ東牟婁郡有田二郡收稅長ハ日高郡ト定ム又各郡衙ニ於テハ第一科長ヲ以テ調査掛長ニ任シ書記及備吏ヲ撰拔シ其他新タニ備吏ヲ要シテ事務ヲ執ラシメタリ

(奈良縣) 縣廳ニ於テハ宇智吉野郡衙ヨリ變災ノ報知アルヤ即日平山書記官屬一名ヲ從ヒ該郡衙ニ出張シ概略被害ノ景狀ヲ聞キ縣廳ヘ急報ヲ以テ屬及警官數名ノ出張ヲ促

シ五條村ヲ臨時出張所本部ト定メ暫ク同所ニ滞在シテ庶務ヲ指揮ス屬警部巡查數名ハ指揮ヲ奉シ路ヲ高野山ニ取リ深山幽谷ヲ踏ミ被害地ニ入り食物運搬及道路開鑿ニ盡力セリ次テ醫員數名ヲ派遣シテ負傷者ヲ治療セシム九月上旬ニ至リ漸ク十津川郷ニ達スル本街道則チ大塔村大字坂木ヨリ入ルノ線路開通セルヲ以テ爾後本街道ヨリ往來セリトシ

義捐金配當割合

(和歌山縣) 義捐金配當割合ハ被害者ヲ四等ニ分チテ之ヲ給ス乃チ住居家流失ヲ第一等トシ潰家ヲ第二等トシ半潰家ヲ第三等トシ浸水ニ罹ルモノヲ第四等トシ而シテ其第一等者ハ金三圓六拾錢第二等者ハ金貳圓六拾錢第三等者ハ金壹圓六拾錢第四等者ハ金貳拾錢ノ割合トス但シ此金額ハ現今己ニ集リ居ル所ノ貳万八千圓ヲ割當セル高ニシテ尙今後ノ金モ此割合ニ準據ス又此ノ割合ハ縣廳ヨリ大体ノ振向方ニシテ實際給與ニ至テハ所管ノ郡長及村長ノ見込ヲ以テ増減スルコトヲ許セリ其増減スル所以ハ住居家流亡スト雖モ貧富ノ差異ハ惟ニ家屋ノ流亡ニノミ留マラサレハナリ例ヘハ公債証

書ノ利子及諸會社ノ株券等ヨリ得ル所ノ利益ヲ以テ生活スル者或ハ被害地外ニ土地ヲ有スルモノ、如キ所得ニ於テ毫モ損失ヲ見サルモノアリ之ニ反シテ家屋ノ外一点ノ所有物ナキモノアリ此ノ兩者ノ區別素ヨリ同日ノ論ニアラサレハナリ其浸水トハ住居家ノ床以上二階ニ及フモノ皆此ノ制限内ニ入ル前三等ニ比較セハ第四等ハ太ク權衡ヲ失スルニ似タレトモ和歌山市ノ如キ浸水ノ害ヲ被リシモノ約九千余戸ノ多キアリ若シ其割合ニ嚴シキ等差ヲ立テサレハ金額大半和歌山市ニ落チテ却テ困難ヲ極メシ他三等者ヘノ惠與大ニ減少セルヲ以テナリ右割合ハ十月上旬郡長會議ニ於テ決定セシモノトシ(奈良縣) 義捐金ノ割合ハ三等ニ區別シ住居家流失セルモノヲ第一等ト定メ潰家及半潰ヲ第二等トシ第三等ハ乃チ間接被害者ニシテ住居家等ニ異狀ナキモ田圃山林ノ損害ヲ受ケシモノニ給與ス而シテ其金額ハ例ヘハ第一等金拾圓ナレハ第二等ハ第一等ノ半金乃チ五圓第三等ハ第二等ノ半額ニシテ金貳圓五拾錢ト定ム是ハ大凡ノ割合ニシテ實際給與ニ至テハ和歌山縣ト同シク村長ノ見込ヲ以テ多少増減ヲ立ツルコトヲ許セリ小官己ニ其配當ヲ受ケシモノニ等差アルヲ認メタリ蓋シ其理由モ亦和歌山縣ト全シカル

へ去ル十月十八日迄ニ両回之ヲ執行セリ後金ハ其集リ次第割渡ス都合ナリ此ノ割合ハ十津川郷七ヶ村長ノ意見ヲ採リ取極メシモノニシテ單ニ縣廳及郡衙ノ用意ニハアテスト

漂流死亡人取扱方

和歌山縣ハ一般行旅死亡人取扱規則ニ據ルト雖モ多數ノ死亡者ナルト生存者救助ニ奔走スルトナリ以テ之ヲ新聞紙等ニ掲載公告スルノ違ナシト云フ奈良縣ハ皆和歌山縣ニ漂流シ偶之レアルモノハ警察官ト其漂流地ノ人民トノ臨機處分ニ任セリト

流木處分

(和歌山縣) 所有主ノ分明ナルモノハ無論所有主ノ請ニ應シテ之ヲ渡シ其根附(立木ノ流出セシモノヲ云フ)ノモノハ漂着地々主ノ所得ト爲シ隨意ニ處分セシム又海岸及一村共有地ニ漂着セルモノハ一村ノ所得トシ之ヲ公賣シテ村内道路修繕等ニ充ツ又漂着木ヲ認メタルモノト漂着地々主ト所得ヲ争ヒ處分ヲ郡衙及村役場ニ請フトキハ双方ニ示談ヲ論ス示談整ハサルモノハ裁判ヲ仰クコトニ定メシト

(奈良縣) 十津川ハ急流ニシテ且絶壁直ニ沿川ヨリ起リ爲メニ流木ノ漂着セル余地ナク悉皆和歌山縣下ニ流出セリ依テ之カ處分法ヲ設ケス但山林所有者ヨリ他管下ノ海岸ニ漂着セルヲ認メ之カ保存及引渡ノ照會ヲ乞フトキハ之ニ應シテ夫々ハ照會シ置キタリト

書類流失セル郡衙事務取扱方

和歌山縣下ニ於テ浸水ニ逢ヒシハ日高郡衙ノミ該郡衙ハ日高川ノ西岸ニ在ルヲ以テ最も早ク災ニ罹リ書類七分通り流失セリ故ニ今日開廳シ事務ヲ執ルハ單ニ被害人救助及其反別等取調ノ爲メニシテ未ク書類取纏メノ運ニ至ラスト

會議

變災ニ就テ和歌山縣ハ堤防假築費徵集ノ爲メ開會シ其豫算金ヲ三万圓トシ(本建築ハ五拾五六万圓ノ見込ト云フ)常置委員ノ決議ヲ取リ借入ルコトニ定メタリ奈良縣ハ道路修理ニ地方稅豫備費ヲ費セシモ猶六万余圓ノ増加ヲ見ルヲ以テ之カ徵集ノ爲メ不日臨時縣會ヲ開キ臨時賦課金壹万余圓ヲ課シ(地租割壹圓ニ付壹錢六厘戸數壹戸ニ付五

錢ノ割一前年度繰越金ト本年度ノ残余金ト合セテ其費額ニ充ツル見込ナリ其他是迄變災ニ就テ會議ヲ設ケシコトナシトシ

令達

多ク郡衙ヨリ出ス尤モ縣廳ヨリノ達ヲ受ケテ其旨ヲ達スルモノトス其種類ハ被害景况取調ノ如キモノ、外衛生ニ關シタルモノヲ認ム和歌山縣廳ヨリ直ニ告示セルモノハ變災ノ當時日需ノ物品ヲ販賣スル者ニ對シ機ニ乘シ騰貴セシムルヲ禁ス奈良縣ハ木材營業者ニ對シ疾ク營業ニ從事セルコトヲ告示セリ

各項處分ノ景况通論

前數項ノ處分ハ(奈良縣ヲ除ク)郡衙ヨリ縣廳ニ伺定セシモノト郡長會議ニ議決セルモノトナリ而シテ被害困難當時ノ處分ニ至テハ各郡大同小異アリ(死亡人取扱方ヲ除ク)左ニ其小異ヲ田圃宅地ニ漂着セル流木處分ノ一事件ヲ借テ之ヲ陳述ス

(有田郡) 遺失物拾揚處分ニ據リ警察官ニ任ス

(日高郡) 漂流物取扱規則ニヨリ取扱ヘリ然ルニ日高川上流山林所有者一同協議ノ

上連署ヲ以テ日高川堤塘破壊シ御坊村外數村間ニ漂着散布セルモノ悉皆引渡テ縣廳ニ出願セリ(木材生産ノ地ハ大和境ニ亘ル地方ニシテ日高川ニ流出セル流木ハ悉ク此地方ヨリ出デシコトハ自他ノ許セル所ナリ)而シテ其旨趣ハ右ノ流木ヲ公賣シ其代金ヲ折半シ一ハ縣廳ニ差出シテ今回變災ニ係ル縣下ノ費用ニ供シ一ハ日高川沿岸道路修繕ニ充テ度ト云フコトアリ(沿岸道路ハ里道ナレド明治十四年縣會ニ於テ地方稅ヨリ幾分ヲ補助スルコトニ定メ爾來町村費地方稅ト併セテ修繕ニ來レリ然レド今回ノ修繕ハ町村費耐フル所ニアラストシ私欲ヲ顧スシテ公平ノ處分ヲ請フト云フコトアリトシ)又流木漂着地ノ人民ハ之ヲ無主物トシ漂着地ノ地主ニ於テ公賣シ其代金ヲ縣廳ト折半シ漂着木ノ爲メ損害ヲ被リシ箇所ヲ償ハント出願シ小官巡視ノ時ハ何レモ定マラザリキ

(西牟婁郡) 初メヨリ漂着地々主ノ所有ト爲シ隨意ノ處分ニ任セリトシ

(東牟婁郡) 本宮村ニ漂着セルモノ、外悉皆海ニ流出シ偶新宮川ノ海口ニ在ルモノハ其村落ニテ保護シ縣廳ノ指揮ヲ請フテ處分スト又本宮村熊野神社境内ニ漂着セル



モノ削成シテ四寸角マテハ之ヲ村内ニ與ヘ四寸以上ニ及フモノハ同神社ニ給ストソ  
 以上ハ根附流水ノ處分ニ付聞ク所ナリ又木材ハ所有主ノ請ヒニ應シテ引渡スコトハ各郡  
 一般ナレトモ流木ノ爲メ損害ヲ受ケ其償金ヲ所有主ヨリ償スニ至テハ各村一途ニ出テス  
 或ハ共有地及一個人ノ私有地ヲ問ハス其村内ニ漂着セルモノハ代價ヲ見積リ所有主ヨ  
 リ十分ノ三ヲ受ケ之ヲ村内破損ノ修繕ニ充ツルアリ或ハ償料ヲ所有主ノ隨意ニ任セ地  
 主ノ所得ト爲スモノアリ或ハ地主ヨリ請求セサルモノアリシトソ  
 其他各件モ亦之ニ類ス蓋シ今回ノ變災ハ古來未曾有ノ珍事ニシテ處務中其準據スヘキ  
 規則アルモ單ニ規則ヲ實踐スルコト能ハサル場合アレハナリ小官ノ視察ニ臨ム變災ノ當  
 時ヲ距ル己ニ數旬ヲ經過スレハ訊問ノ日早キニアラス然ルニ細事ニ涉レハ各郡區々ノ  
 答ヲ與ヘテ判明ニ苦マシムルモノアリ思フニ小官訊問ノ當時ハ庶務漸ク緒ニ就キ被害  
 者モ亦稍安堵ノ域ニ臨ムノ時ニシテ從テ郡衙モ亦被害困難當時ニ係ル處分ヲ伺定スル  
 ノ時ナルベシ然レハ則處置ノ一定セサル亦以テ遅キトセス小官カ彼此ノ別ナク數件ヲ  
 一席上ニ訊問スルノ早キナルヘシ

明治廿二年十二月三日印刷出版

禁賣買

山口縣士族

發行者 白根 專一

愛媛縣温泉郡出瀨町  
壹丁目八番戸

愛媛縣平民

印刷者 山本 盛信

愛媛縣温泉郡榎町  
拾壹番戸

正誤

十丁十行目 ナリハナク

全丁十一行目 難キヲノキハ衍

十二丁初行 被害地ノ下ヘノ字ヲ脱

十四丁七行目 各目ハ名目

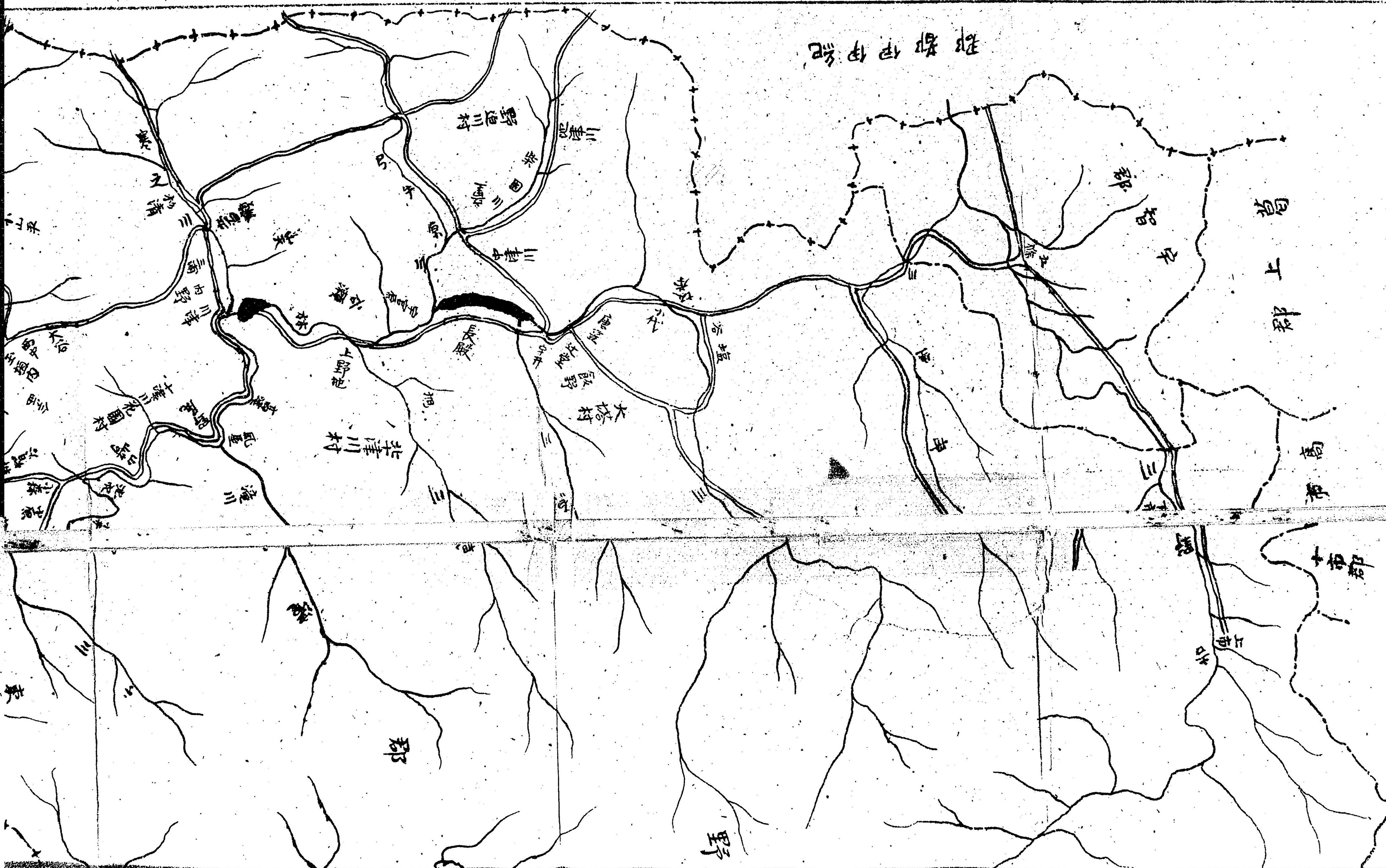
全丁十三行目 若干ノ下石ノ字ヲ脱ス

二十丁三行目 七ヶ村ハ六ヶ村

二十九丁七行目 町村費ノ下ノ字ヲ脱ス

三十丁六行 モノアリハモノモアリ

奈良縣水害地一覽圖



伊勢郡

野上郡

高市郡

十伊郡

郡

野

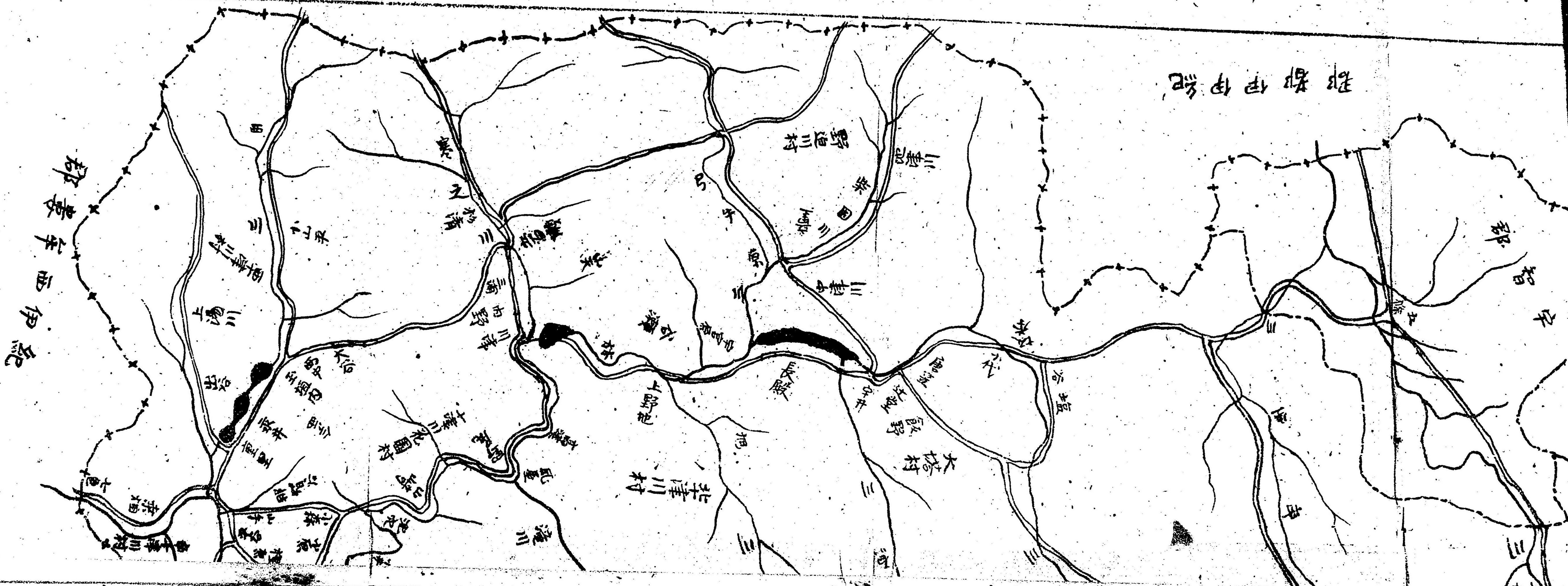
郡

大塔村

北津川村

野道三村

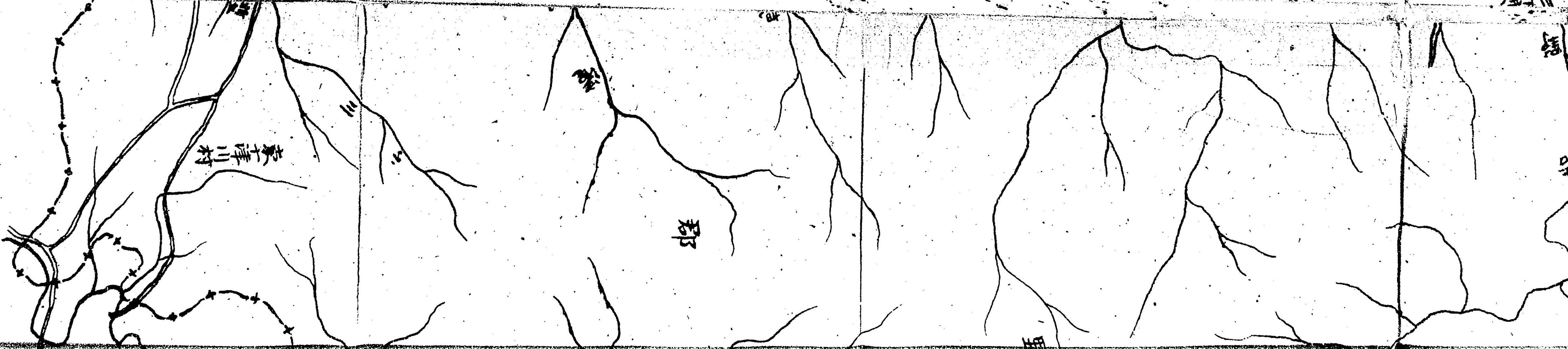
郡伊甲紀



郡伊西伊紀

郡

郡伊東伊紀



覽見回

高海

十伊郡

古郡陀

三

三

右

伊勢

野

郡

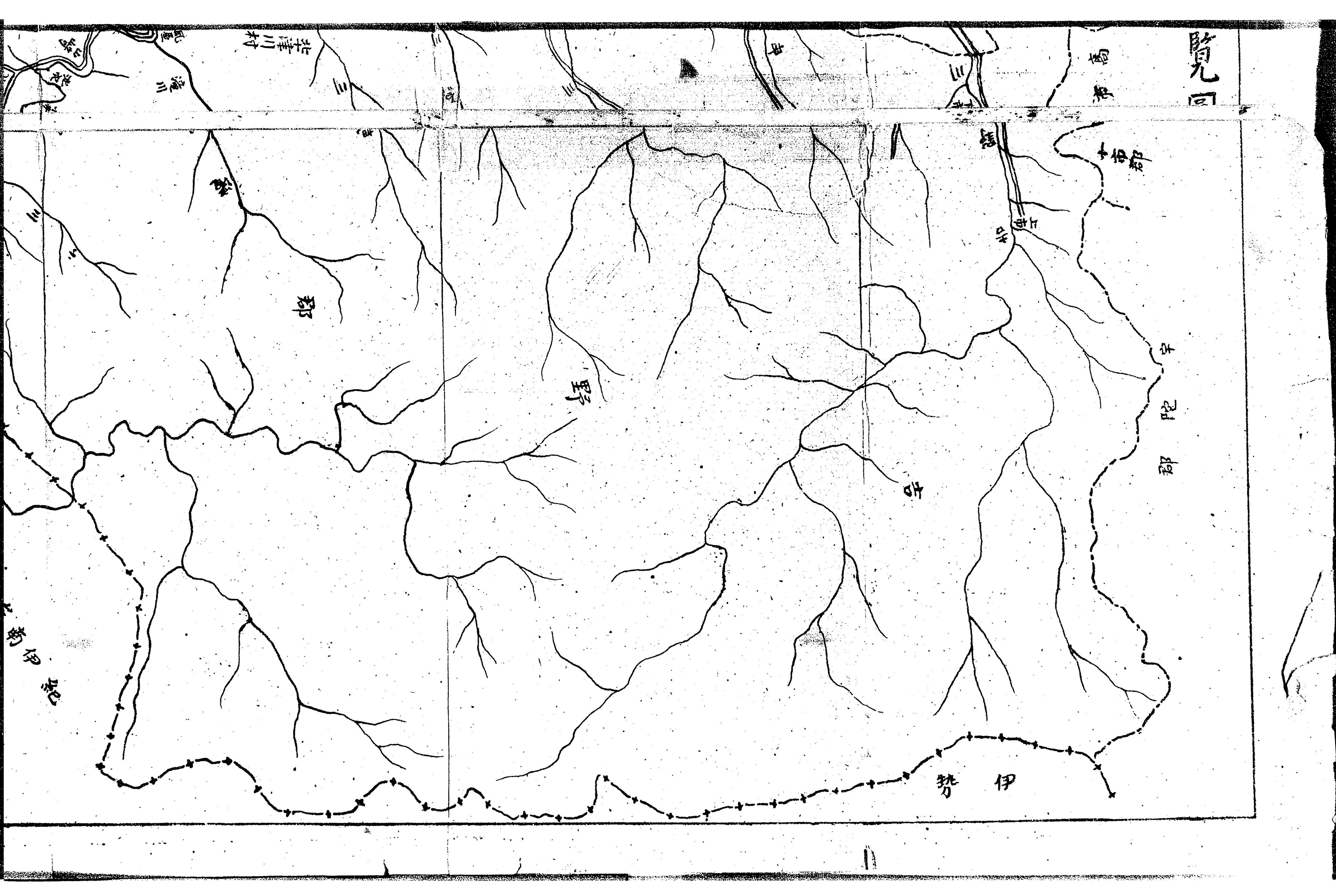
流

流川

北津川村

流川

伊勢



伊東半島

伊東半島

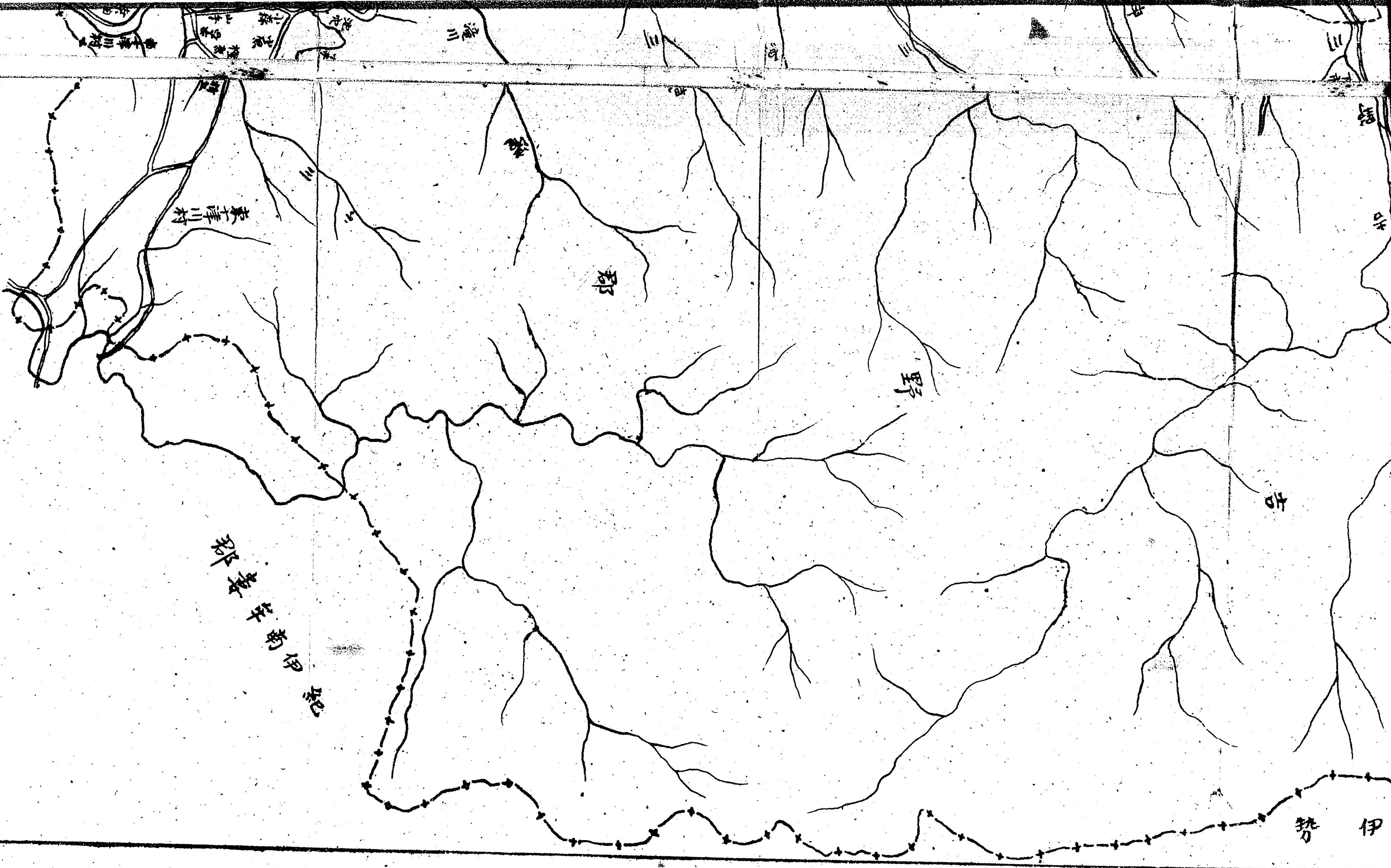
東洋村

郡

野

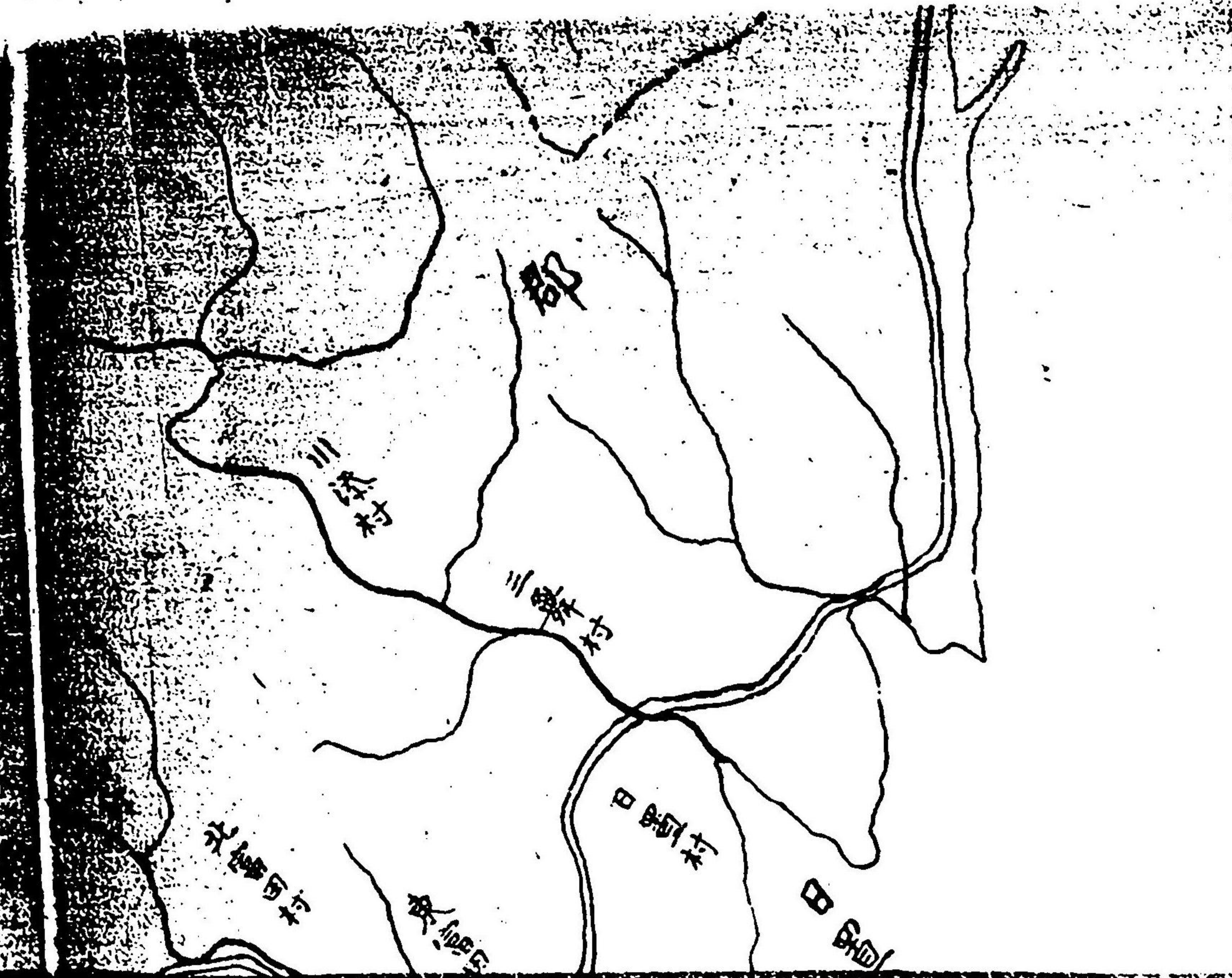
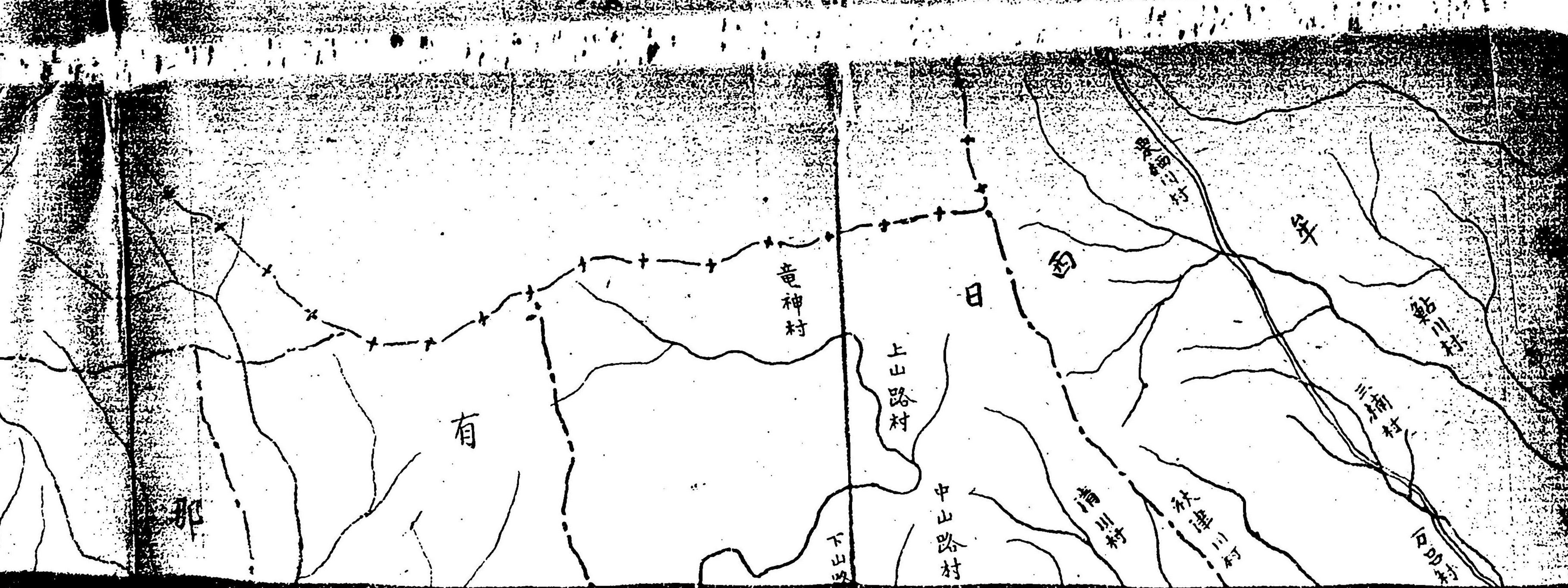
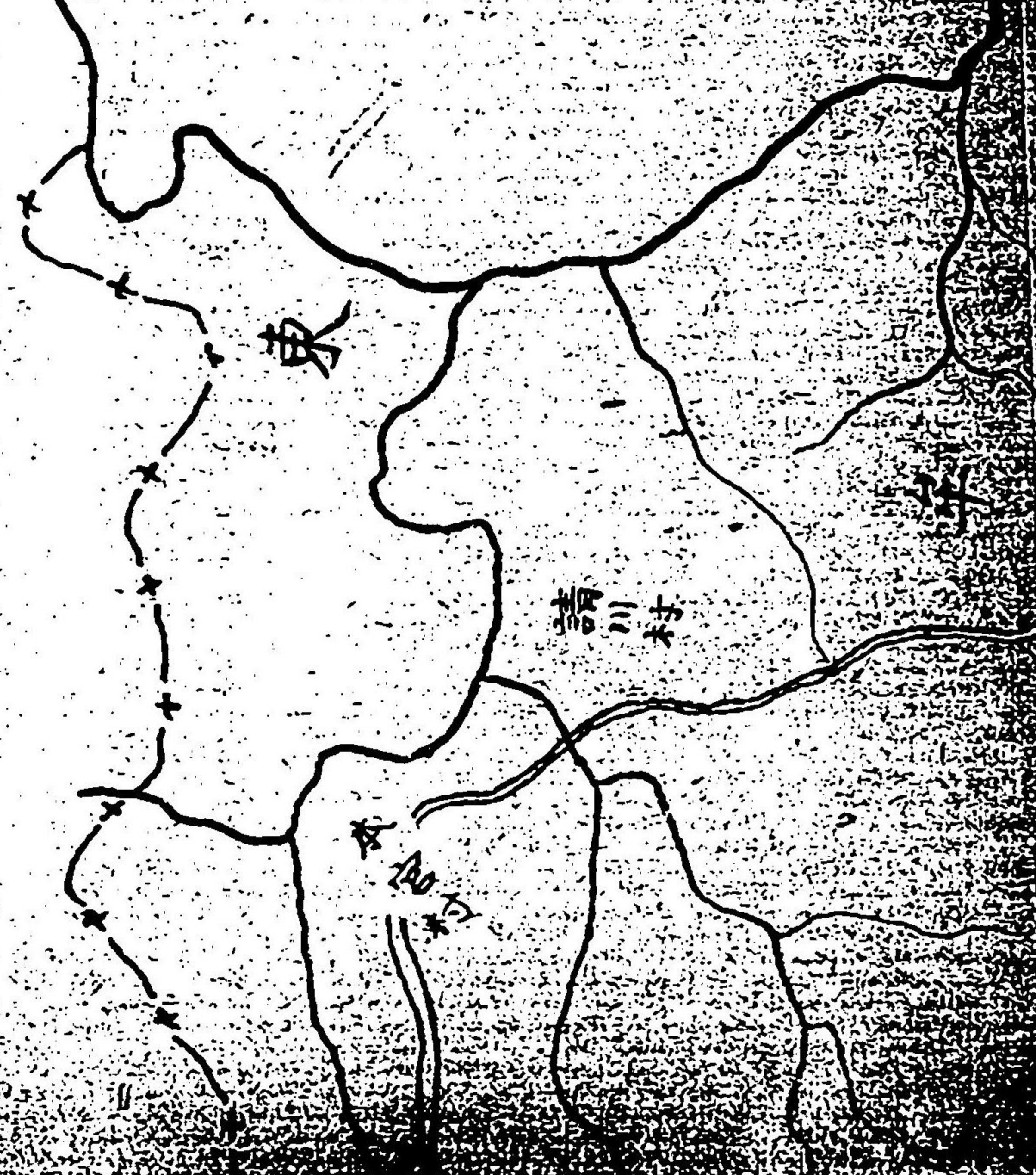
市

伊勢



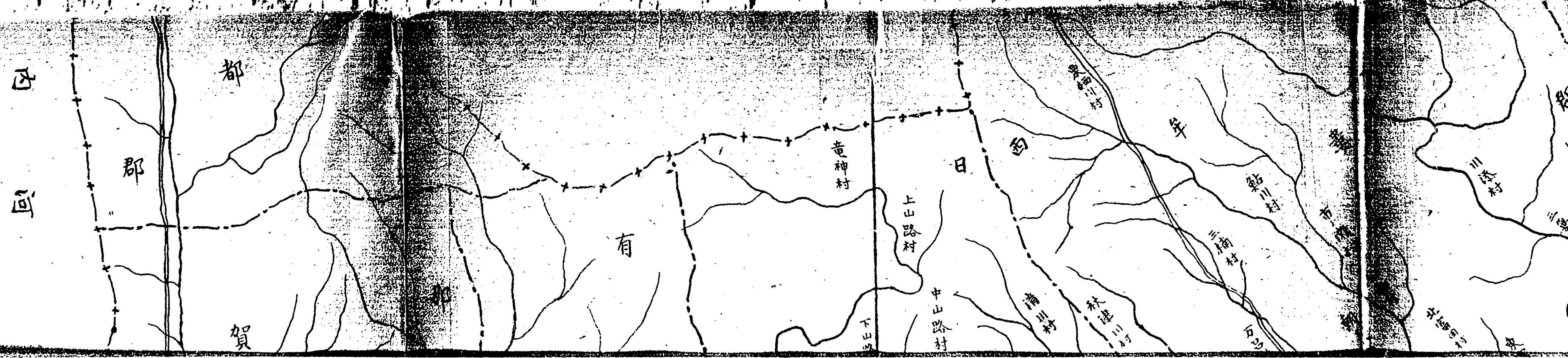
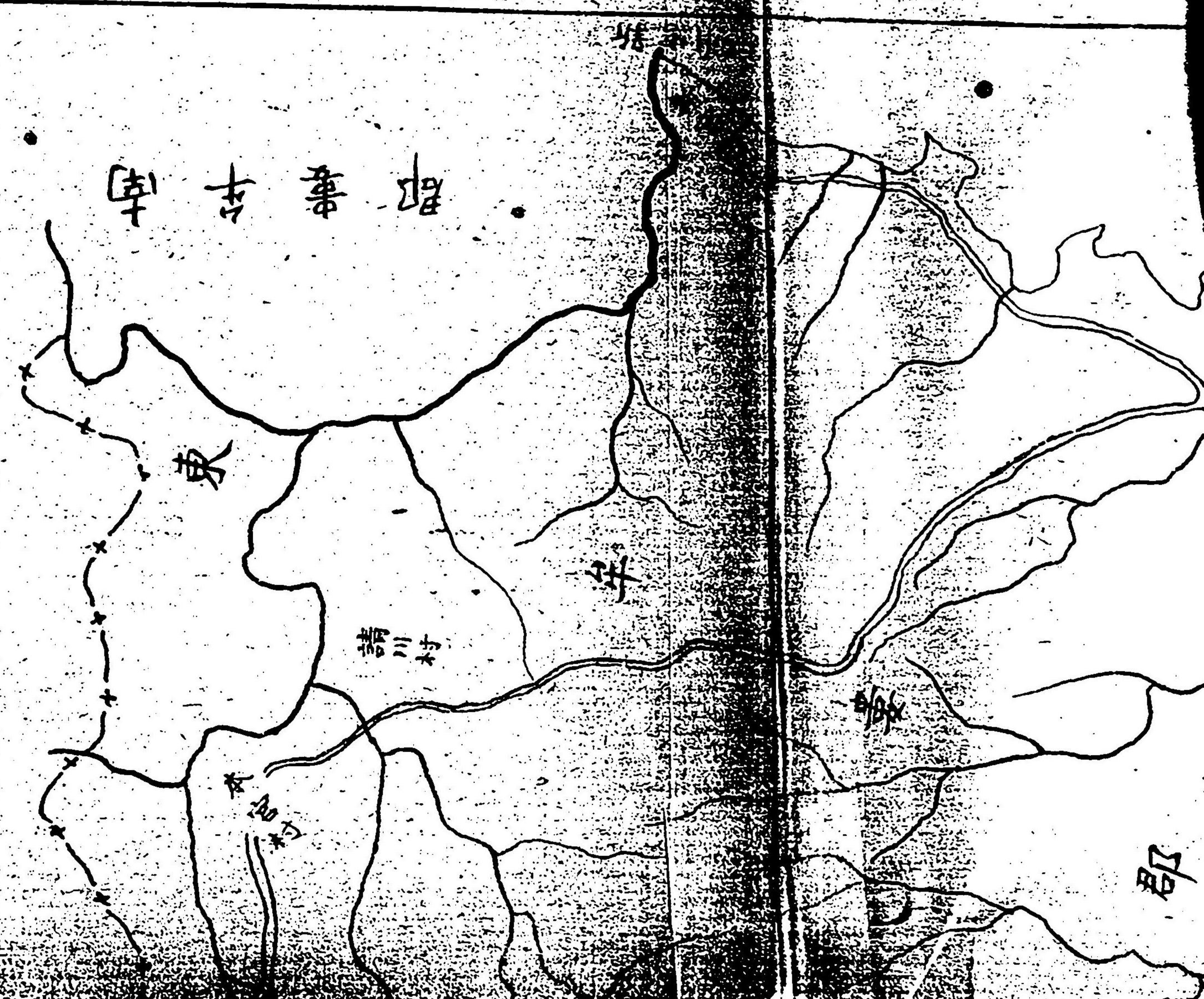
和歌山縣水害地圖

聖吉華聖

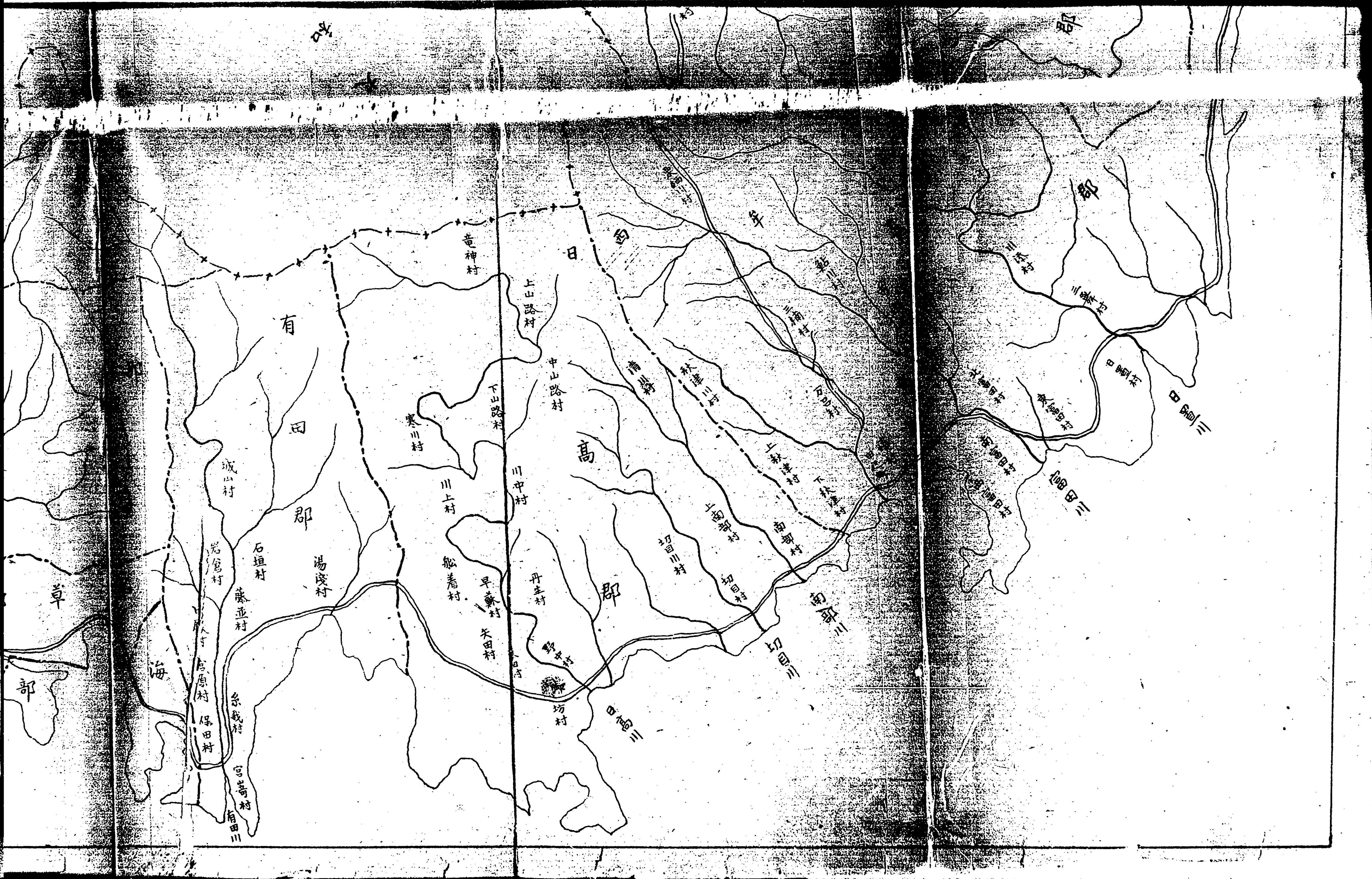


特17  
593

和歌山縣水害圖覽







内  
河  
泉  
和

